

# 北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト

## 目的

今後の北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の開業も見据え、歴史・文化・食など地域の資源を最大限に活かし、観光誘致、ワーケーション等による長期滞在、移住定住の促進など、交流人口や関係人口等の創出・拡大を推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ●北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流の拡大

■北海道新幹線PR活動の実施 [北海道新幹線建設促進道南地方期成会]

#### ・「親子で参加！見て知って学ぼう 北海道新幹線」

開催日：令和3年11月6日

概要：次世代を担う道南地域の子供たちに北海道新幹線を学んでもらう機会を提供し、関心を持ってもらうことを目的に開催。



### ●個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実

■広域観光キャンペーンの実施 [町村会、振興局]

#### ・「ひやまに泊まろうキャンペーン」

期間：令和3年11月20日～令和4年2月28日

概要：新型コロナウイルスの感染防止と交流促進の両立に向け、宿泊施設の利用者にアンケートを配布し、回答者の中から、抽選で300名に管内の宿泊券や特産品を贈呈。



### ●道南の多様な魅力を活かした移住・定住及びワーケーション等の推進

■移住・定住及びワーケーション等の推進に向けた取組の実施 [市町、振興局]

#### ・「北海道移住・交流フェア」への出展

開催日：令和3年11月14日

場所：東京交通会館

参加市町：北斗市、知内町、木古内町、七飯町、森町

概要：各市町の個別ブースにおいてフェア来場者への個別相談対応、ノベルティとして「移住PRカレンダー」を配付。60組74名が参加。



#### ・ひやまワーケーションガイドの作成

配布場所：移住定住イベントなど

概要：江差町、上ノ国町、厚沢部町、今金町のワーケーション施設などを紹介するパンフレットを作成。



主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
道南地域への観光入込客数	793万人 (R2)	876万人 (R3)	1,521万人 (R6)	57.6%
北海道型ワーケーション参加市町村数 (檜山地域)	3町 (R3)	4町 (R3)	7町 (R7)	57.1%
道南地域の地域おこし協力隊員数	45人 (R2)	51人 (R3)	58人 (R7)	87.9%

## R4年度の主な取組

- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」関連イベントと連携した北海道新幹線利用促進・拡大に向けた取組 [北海道新幹線建設促進道南地方期成会]
- 「知って泊まってぐるっと道南檜山キャンペーン」など誘客キャンペーンの実施 [令和4年度ひやま観光推進キャンペーン実行委員会]
- 移住・交流フェア出展や移住者座談会動画制作・配信、ひやまワーケーションモニターツアーの開催 [市町、ふるさと回帰支援センター、振興局]

# 道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト

## 目的

地域特性を最大限に発揮し、洋上風力などの再生可能エネルギーの活用や森林の循環利用、さらには住宅や公共施設の省エネ化等に向け、関係者が一体となって取り組み、世界、日本、そして本道の脱炭素化に貢献する。

## これまでの主な取組・成果

### ●温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進

#### ■ZEB導入や次世代自動車の普及啓発 [振興局]

##### ・「はこだてエコライフ展2021」での展示

期 間：令和3年11月21日～28日  
場 所：シエスタハコダテ4階Gスクエア  
概 要：はこだてエコライフ展において、ZEHについての情報や次世代自動車の普及拡大を啓発するパネルを展示。



#### ■ゼロカーボンネットワークの立ち上げ [振興局]

##### ・ひやまゼロカーボンネットワーク

設置日：令和3年10月  
概 要：官民連携組織「ひやまゼロカーボンネットワーク」を通じて、各自治体及び民間事業者の取組等について情報交換会を実施。



### ●地域資源を活かした再生可能エネルギーの利活用推進

#### ■洋上風力発電導入に向けた取組への支援 [町、国、振興局]

##### ・渡島エリア

再エネ海域利用法における洋上風力の促進区域指定に向けて活動を展開している松前町に支援を実施。

##### ・檜山エリア

檜山沖洋上風力発電計画住民説明会を江差町で開催したほか、理解促進を目的とした動画を配信。



### ●吸収源対策としての森林の適正管理と自然環境の保全

#### ■檜山の森林づくり運動の推進 [振興局]

##### ・檜山の森づくり植樹祭inおとべ

開催日：令和3年5月8日  
概 要：吸収源対策として檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った管内で開催される、植樹・育樹活動を支援。



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
道南地域のゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町 (R3)	5市町 (R3)	10市町 (R7)	50.0%
道南地域の新エネルギー導入量 (設備容量)	33万kw (R1)	集計中 (R3)	44.4万kw (R7)	-

## R4年度の主な取組

- 各種イベントにおける展示等ZEB化誘導や次世代自動車の普及拡大に向けた取組の実施 [振興局]
- ゼロカーボンひやまに向けた温室効果ガス削減目標とロードマップ策定 [振興局]
- 地域における新エネ導入に向けた自治体の取組の掘り起こしや検討に向けた支援及び関係事業者の動向調査 [振興局]
- 商業施設での展示会等、教育機関や木育マイスターなどと連携した木育活動の推進 [振興局]

# 地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト

## 目的

製品のブランド化や適正な資源管理などによる付加価値の向上、ポストコロナに対応した販路の拡大など、稼ぐ産業への転換及び担い手不足への対応を推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ●農林水産業の生産力向上

■立茎アスパラガス栽培に係るスマート農業技術の確立  
[町、J A、普及センター、振興局]

#### ・ハウス立茎アスパラガス自動かん水導入実証試験

期 間：令和3年5月～11月

概 要：ハウス管理の軽減と適正管理を目指し、関係機関と試験実施者で意見交換を行いながら試験を推進。



### ●農林水産業への新規就業につながる担い手対策の推進

■農業を支える担い手の育成・確保 [振興局]

#### ・農林漁業出前講座

開 催 日：令和3年11月26日

場 所：八雲高等学校

概 要：管内普通高校生に農林漁業の内容や魅力を知ってもらい、就業への興味・関心を高めるため出前講座を開催。



### ●農林水産業の付加価値向上と販路拡大

■ブリの消費拡大につながる販促PR活動の展開 [振興局]

#### ・ブリフェス

期 間：令和3年10月1日～10月31日

概 要：飲食店38店舗で一斉にブリたれカツメニューを提供するイベントを開催。スーパー22店舗のお惣菜コーナーでもブリたれカツを販売。



■道南スギをはじめとする地域製品のブランド化に向けた取組 [振興局]

#### ・道南スギ森林認証製品等の展示会

開 催 日：令和4年3月7日～3月13日

場 所：無印良品シエスタハコダテ

概 要：集客力の高い商業施設において、道南スギ及び森林認証制度等に関する展示会を開催。



### 主な評価指標 (KPI)

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
連携地域の農業産出額	525億円 (H30)	集計中 (R3)	549億円 (R7)	-
農林水産業の新規就業者数	73人 (R1)	集計中 (R3)	105人 (R6)	-
道南スギの年間製材出荷量 (渡島地域)	20,228㎡ (R1)	18,467㎡ (R3)	23,500㎡ (R6)	78.6%

## R4年度の主な取組

■ICT等を活用したスマート農業の実証、普及促進 [振興局]

■ブリの消費拡大イベントや料理教室の開催によるマーケット拡大に向けたPR活動の実施 [振興局]

■新規就農者の確保につながる相談会、農業体験ツアー等の開催 [振興局]

# 暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト

## 目的

地域住民をはじめ自治体や関係機関、事業者等の連携のもと、人口動態なども踏まえた地域全体の医療体制や交通体系の最適化に向けた取組を進めるとともに、ハード・ソフト両面から地域防災の充実強化を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ●公共交通の維持・確保

- 地域公共交通計画策定に向けた意見交換会の開催 [振興局]  
・生活公共交通意見交換会

開催日：令和4年2月24日、3月22日

場所：渡島総合振興局合同庁舎

概要：生活公共交通を維持・確保していくことを目的に、交通事業者を交えた意見交換会を開催。



### ●防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

- 災害応急対策に係る訓練の実施 [振興局]  
・災害対策渡島地方本部指揮室設置・運営訓練

開催日：令和3年4月27日

場所：渡島総合振興局合同庁舎

概要：大規模災害時における迅速な初動対応のため、防災関係機関が一堂に会し、災害に関する情報収集、各機関との連絡調整を行う訓練を実施。



### ●安心で質の高い医療・福祉サービスの強化

- 道立江差病院における地域医療の確保 [札幌医科大学]

#### ・道立江差病院

札幌医科大学「地域医療研究教育研究センター」と連携し医学・研究フィールドを設置。

教育センターからの教員・学生派遣を受け入れ、初期臨床研修医や医学生の研修体制を整備。



- 地域防災力の向上に資する研修会の開催 [振興局]

#### ・避難所運営ゲーム (Doはぐ) 講師養成研修会

開催日：令和3年11月21日

場所：渡島総合振興局合同庁舎

概要：避難所運営を模擬体験できる防災教育用教材「Doはぐ」を多くの道民に普及するため、「Doはぐ」実施に必要な講師を養成する研修会を開催。



## 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
渡島地域の地域公共交通計画策定カバー率	36% (R3)	45% (R3)	100% (R5)	45.0%
檜山地域の地域公共交通計画策定カバー率	14% (R3)	14% (R3)	100% (R5)	14.0%
渡島地域の自主防災組織の活動カバー率	59.7% (R2)	59.7% (R3) (全国平均値: 84.4%)	全国平均値以上 (R6)	70.7%
檜山地域の自主防災組織の活動カバー率	60.1% (R2)	61.3% (R3) (全国平均値: 84.4%)	全国平均値以上 (R6)	72.6%

## R4年度の主な取組

- 協議会や勉強会の開催等、地域公共交通計画策定に向けた支援の実施 [振興局]
- 地域医療構想調整会議等を通じ、南檜山医療圏全体で将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築に向けた取組の推進 [振興局]
- 市町村における防災訓練実施の支援等、地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上を図る取組の実施 [振興局等]

# 地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

## 目的

「食」や「観光」、「再生可能エネルギー」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ●地域の強みを活かした地域産業の振興や企業誘致の推進

#### ■「道南ワインアカデミー」の開催 [振興局]

##### ・人材育成セミナー

日 時：令和3年6月30日、9月27日、  
令和4年1月26日、3月17日

場 所：七飯町文化センターほか

概 要：ワインの生産・販売や提供に活かせる知識・手法を学ぶセミナーや、将来のワイン産業を担う人材に向けたセミナーを開催。延べ133名参加。



#### ■個別相談商談会の開催 [振興局]

##### ・「道南食のブランドフェア2021」

日 時：令和3年10月12日

場 所：函館国際ホテル

概 要：道内外のバイヤー等を招へいし、生産者及び食品加工業者等との個別相談商談会を開催。道内外バイヤー・食のサポーター30社44名、道南及び青森の生産者・加工業者等56社が参加。



### ●産業振興と雇用対策との一体的展開による雇用の創出及び若年層の定着

#### ■企業見学会及び就職ガイダンスの実施 [振興局]

##### ・地元のおしごと紹介フェア

開催日：令和3年11月11日、12月13日

場 所：函館国際ホテル、七飯町文化センター

概 要：人手不足の産業分野の企業と多様な人材の相互理解を促進するための合同企業説明会を開催。希望者には、相談対応等の個別支援を行うブースを設置。計209名参加。



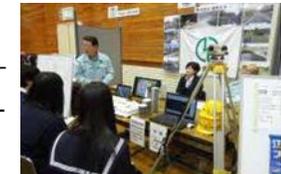
#### ■新卒者、若年層早期退職者等に向けた説明会の開催 [振興局]

##### ・「じもと×しごと応援フェア」

開催日：令和3年7月20日、12月9日

場 所：檜山北高等学校、  
上ノ国町スポーツセンター

概 要：地域の若者の就職・職場定着を支援するため、高校生等を対象に開催。ブースを設け、企業等の仕事内容を紹介。計64名が参加。



### 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
食の個別相談会等での商談成約件数	281件 (H26-H30)	104件 (R3) (R2-R3:198件)	300件 (R2-R6)	66.0%

## R4年度の主な取組

- コロナ禍におけるマーケット変化への対応を支援する個別相談商談会の実施 [振興局]
- 立地企業フォローアップ調査、企業立地情報の発信 [振興局]
- 求職者と地元企業の相互理解を図る企業・求職者向け企業訪問・見学会の実施 [振興局]

# 縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

## 目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

## これまでの主な取組・成果

### ●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

#### ■「北の縄文スタンプラリー」の実施

〔北海道、道南ブロック博物館施設等連絡協議会、教育委員会、民間〕

期 間：令和3年7月17日～10月31日

参加施設：縄文関連施設全30館

概 要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の道内初となる世界文化遺産登録を記念し、道内の縄文関連展示施設を巡るスタンプラリーを開催。振興局管内全施設訪問者は、渡島：155名、檜山：170名、石狩：155名、胆振：136名。



#### ■縄文関連商品を集めたフェアの開催 [振興局]

##### ・「北海道どさんこプラザ湯川店」1周年記念フェア

期 間：令和3年7月29日～8月1日

概 要：どさんこプラザ湯川店オープン1周年と「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を記念したフェアを開催。縄文スイーツや縄文グッズを販売したほか、国宝中空土偶のパネル展示等PRコーナーを設置し、普及啓発を実施。



### ●遺産を活用した誘客促進

#### ■公共機関等へのポスター掲示や縄文パネル展の実施 [振興局]

##### ・北の縄文パネル展

期 間：令和3年4月～令和4年3月

場 所：函館市内を中心に8カ所

概 要：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」及び縄文文化の普及啓発のため、商業施設や公共施設等でパネル展を開催。



##### ・横断幕の掲出（新函館北斗駅等）

#### ■縄文文化の活用 [振興局]

##### ・渡島の縄文ガイド

配布場所：渡島合同庁舎、管内縄文関連施設

概 要：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」及び渡島管内の縄文文化関連展示施設の魅力を発信するとともに、管内の周遊促進や縄文文化の一層の理解促進を図るため「渡島の縄文ガイド」を制作。



### 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
渡島管内への観光入込客数	688万人 (R2)	774万人 (R3)	1,371万人 (R6)	56.5%

## R4年度の主な取組

■「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録1周年記念事業の実施 [振興局、教育委員会他]

■地域資源を活用した縄文関連新商品の開発支援 [振興局]

■周遊パンフレットやWebページの作成など誘客に繋がる情報発信 [振興局]

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	688万人 (R2)	774万人					1,371万人 (R6)	56.5%
	観光入込客数（檜山地域）	105万人 (R2)	102万人					150万人 (R6)	68.0%
	ちょっと暮らしの利用者数（道南地域）	109人 (R2)	123人					210人 (R7)	58.6%
	ちょっと暮らしの利用者数（渡島地域）	52人 (R2)	63人					80人 (R7)	78.8%
	ちょっと暮らしの利用者数（檜山地域）	57人 (R2)	60人					130人 (R7)	46.2%
	ちょっと暮らしの滞在日数（檜山地域）	2,713日 (R1)	458日					3,100日 (R7)	14.8%
	北海道型ワーケーション参加市町村数（檜山地域）	3町 (R3)	4町					7町 (R7)	57.1%
	地域おこし協力隊員数（渡島地域）	29人 (R2)	32人					37人 (R7)	86.5%
	地域おこし協力隊員数（檜山地域）	16人 (R2)	19人					21人 (R7)	90.5%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数 (渡島地域)	0市町 (R3)	4市町					6市町 (R7)	66.7%
	ゼロカーボンシティ表明市町村数 (檜山地域)	0町 (R3)	1市町					4市町 (R7)	25.0%
	新エネルギー導入量（設備容量） (渡島地域)	18.4万kw (R1)	集計中					25.8万kw (R7)	—
	新エネルギー導入量（設備容量） (檜山地域)	14.6万kw (R1)	12.7万kw					18.6万kw (R7)	68.3%
	造林面積（渡島地域）	2,728ha (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)					4,341ha (R2-R6)	—
	造林面積（檜山地域）	1,050ha (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)					2,084ha (R2-R6)	—
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	農業産出額（渡島地域）	374億円 (H30)	集計中					391億円 (R7)	—
	農業産出額（檜山地域）	151億円 (H30)	集計中					158億円 (R7)	—
	農林水産業の新規就業者数	73人 (R1)	集計中					105人 (R6)	—
	農林水産業の新規就業者数（渡島地域）	55人 (R1)	集計中					81人 (R6)	—

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	農林水産業の新規就業者数（檜山地域）	18人 (R1)	集計中					24人 (61)	—
	道南スギの年間製材出荷量（渡島地域）	20,228m <sup>3</sup> (R1)	18,467m <sup>3</sup>					23,500m <sup>3</sup> (R6)	78.6%
	伐採立木材積（渡島地域）	985千m <sup>3</sup> (H27-R1)	<del>(年度ごとの実績値公表なし)</del>					1,267千m <sup>3</sup> (R2-R6)	—
	伐採立木材積（檜山地域）	396千m <sup>3</sup> (H27-R1)	<del>(年度ごとの実績値公表なし)</del>					565千m <sup>3</sup> (R2-R6)	—
	造林面積（渡島地域）【再掲】	2,728ha (H27-R1)	<del>(年度ごとの実績値公表なし)</del>					4,341ha (R2-R6)	—
	造林面積（檜山地域）【再掲】	1,050ha (H27-R1)	<del>(年度ごとの実績値公表なし)</del>					2,084ha (R2-R6)	—
暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	地域公共交通計画策定カバー率（渡島地域）	36% (R3)	45%					100% (R5)	45.0%
	地域公共交通計画策定カバー率（檜山地域）	14% (R3)	14%					100% (R5)	14.0%
	航路輸送（江差—奥尻間）の旅客数（檜山地域）	62,241人 (R2)	36,149人					64,000人 (R7)	56.5%
	航路輸送（函館—奥尻間）の利用客数（檜山地域）	10,903人 (R2)	7,877人					12,000人 (R7)	65.6%

# 評価指標（KPI）一覧

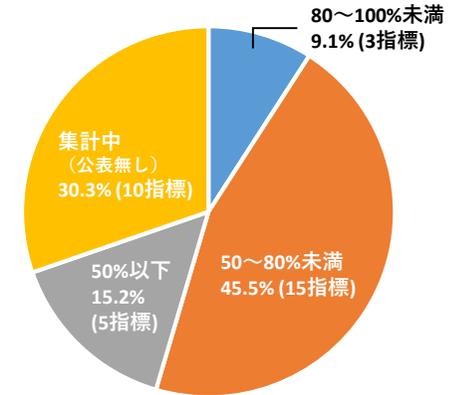
プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	自主防災組織の活動カバー率（渡島地域）	59.7% (R2)	59.7% (全国平均値:84.4%)					全国平均値以上 (R6)	70.7%
	自主防災組織の活動カバー率（檜山地域）	60.1% (R2)	61.3% (全国平均値:84.4%)					全国平均値以上 (R6)	72.6%
地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	食の個別相談会等での商談成約件数	281件 (H26-H30)	104件 (R2-R3:198件)					300件 (R2-R6)	66.0%
縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）【再掲】	688万人 (R2)	774万人					1,371万人 (R6)	56.5%
	観光入込客数（檜山地域）【再掲】	105万人 (R2)	102万人					150万人 (R6)	68.0%
	観光入込客数（胆振地域）	931万人 (R2)	948万人					1,764万人 (R6)	53.7%
	観光入込客数（石狩地域）	1,336万人 (R2)	1,577万人					3,100万人 (R7)	50.9%
	多言語化など、縄文文化の理解促進に向けて新たな取り組みを行った施設数（渡島地域）	1施設 (R2)	10施設					11施設 (R7)	90.9%

# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向

- ・ 33の評価指標のうち、3つの指標で80%を超える進捗があった。（集計中：6指標）
- ・ 観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症による影響が続いているが、微増している。
- ・ ちょっと暮らしの利用者数は、地方移住への関心の高まりに伴い、増加している。
- ・ ゼロカーボンシティ表明市町村数は、連携地域内の5市町から新たに表明があった。
- ・ 道南スギの年間製材出荷量は、新型コロナウイルス感染症の影響により、買い手及び生産量が減少し、基準値以下となった。
- ・ 航路輸送（江差―奥尻間）の旅客数及び利用客数は、増加傾向にある。
- ・ 食の個別相談会等での商談成約件数は、単年ベースの目標値（年60件）を大きく上回った。
- ・ 令和4年度の実績については、引き続き、市町村をはじめとした関係機関との連携を図りながら、各プロジェクトの目標達成に向け、豊富な地域資源を活用した各般の実績を推進する。

令和4年度KPI進捗率



# R 4 年度における渡島総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト <sup>(※)</sup>
「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進パワーアップ事業	令和3年7月の「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を契機に、地域住民などの理解促進や「北の縄文ファン」の拡大、縄文遺跡・縄文文化の次世代への継承に向けた取組を展開する。	⑥
「食彩王国南北海道」スパイラルアップ事業	道南地域の食の魅力向上をさらに図るため、「つなぐ・つくる・かせぐ」をキーワードに地域内連携を促進し、食彩王国南北海道ブランドの確立、コロナ禍の顧客ニーズやマーケットの大きな変化に対応した管内事業者の技術等の磨き上げを加速していく。	⑤
渡島の多様性を活かした次世代を支える農業労働力確保推進事業	人口減少社会に対応した持続的な農業を確立するため、渡島地域の営農実態に即した新技術の普及や次世代の渡島地域を支える多様な担い手の育成・確保を図る。	③
おしまスタイル・都市と農山漁村バトンリレー事業	農業・農山漁村の活性化を図るため、関係機関などと連携して、管内にある豊富な地域資源を最大限に活用した教育旅行や体験観光を通じた都市と農村の交流、農畜産物の高付加価値化、地産地消等の取組を推進する。	①③
みんなで拓げる木づかいプロジェクト！	林業・木材産業の理解醸成を図り、道南スギ等地域材の利用を拓げるため、商業施設等と連携した地域材普及PRを進めるとともに、学生等が地域材を活用したまちづくりのデザインを学ぶ場を提供するなど、地域材のブランド化に向けた取組を行う。	③
ブリの活用連携促進事業	管内がブリの一大生産地である認知度を高め、産学官が連携して新商品や新メニューを開発することでブリの需要を喚起するとともに、イカの原料不足で苦境にあえぐ水産加工業者や飲食店でのブリの活用を促進し、消費を拡大させることで魚価の向上を図る。	③
渡島管内漁業就業対策事業	近年の道内・国内における労働者不足の影響により、減少傾向にある渡島管内の漁業経営体の担い手確保のため、渡島管内においてマッチングフェア及び漁労体験を実施する。	③
移住・定住に向けた地域の魅力発信事業	渡島地域における移住定住等を更に促進するため、市町と連携しながら、首都圏で開催されるイベント等において、地域の魅力を発信するとともに、SNS等を活用して渡島の魅力を広く発信する。	①
「みなみ北海道まるっと周遊」観光地域づくり強化事業	縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたことから、この機を逃さず誘客効果を管内エリア全体に広げるため、管内周遊ルートの情報発信を核とした取組を展開する。	①⑥
訪日外国人向け環境整備・集客プロモーション事業	アフターコロナを見据え、観光施設や宿泊施設等の受入環境整備を進めるとともに、世界文化遺産登録された「縄文文化」を始めとした歴史や文化をメインコンテンツとしてPRし、インバウンド需要回復に向けた準備を進める。	①⑥

## ※渡島地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

# R 4 年度における檜山振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト <sup>(※)</sup>
「交流と再発見」小さなひやまの大きな宝探しプロジェクト	国道229号線の通行止めの影響等により停滞する観光・交流の底上げを図るため、管内各町と連携し、誘客・交流の起爆剤となるキャンペーンや広域観光ルートの開発、観光コンテンツの磨き上げを行う。	①
「ひやまの食と観光」魅力向上・創出事業	檜山管内の食と観光産業の魅力向上を図るため、関係機関等と連携し、地域資源の魅力を最大限に活用した商品の磨き上げや販路拡大の支援、人材育成、SNS等を活用した情報発信やプロモーション等の実施により地域経済の活性化を図る。	①
ゼロカーボンひやまキックオフプロジェクト	檜山地域における脱炭素化を地域が一体となって進めるため、独自の削減目標策定などにより脱炭素化に向けた機運を醸成するとともに、地域プロジェクトの創出などに取り組む自治体等を支援する。	②
ひやまワーケーションプロジェクト	檜山地域の強みを活かした独自のワーケーションプランを構築し、大都市圏の企業等から人を呼び込むことで交流人口・関係人口の創出・拡大につなげる。	①
檜山地域関係人口創出事業	全道を上回るスピードで人口減少・高齢化が進行する檜山地域において、持続可能な地域社会を実現するため、将来を担う人材の育成による関係人口の創出を図る。	①⑤
檜山農業スタイル確立事業	人口減少の中で生き生きとした小規模家族農業の持続可能な檜山 農業スタイルを確立し、農村地域の活性化を図る。	③
檜山の林業再生支援事業	森林づくりを支える人材の確保・育成や、地域樹種であるスギの利用拡大、ヒバの再生支援など、檜山の林業再生に向けた総合的な取組を実施する。	③

## ※檜山地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト